子學忠はこの戦闘により重傷を負つたとらは 特務園書記長上尉陳鵬林以下將校十八名、 特務園書記長上尉陳鵬林以下將校十八名、 一齊に于學忠軍司合部に突入、同司合部高 一齊に子學忠軍司合部に突入、同司合部高 が出版域の唐土山附近を子學忠以下約一千

ピンタ色は逐次帯団されつくめ

敵性地名一掃

の統一的な改正に乗出すこと

より『ジャバ』は『ジャワ』 ることになつた、この歌正に

ー、後米用ひられた『ジャパ』 く改稱される く改称される

が、今後、これをジャワ に統一、ジャワ島のみを指 す場合には、ジャワ島のみを指 が、今後、これをジャワ

スマトラ方面の地名にはイギ【昭南廿一日同盟】マレー

でも研究中馬來軍監部

僅

か一八里餘の猛進撃

際において 褒敵を 挪蕩中である。 卅日までに 判明せる綜合 戦鬼左の通り

こ語:所 高屋嘴附近の敵殱滅

開始V、所在の蒸減を消吸しつ、廿九日古田区、、赤毛山を結けてゐた熱彩七十八郎衛下が蘇光十三師の総医羅縁を関し去る廿四日わけてゐた熱彩七十日同盟】 遠近蔵略省万十七キロ高屋廣地近に撒入、薫迦を蘇「湊口卅一日同盟」 遠近蔵略省万十七キロ高屋廣地近に撒入、薫迦を蘇

敵軍司令部を粉碎す

敵屍九百于學忠も重傷

我軍一齊に行動開始

說社

大戰滿三年

世界

大膽不敵、海軍の傳統

の三年間歐洲に血を以て躁が厲三年に當るのである。

関節であることに性格づけた

れは網辺へされる歴史の當然

カソン、ロイドジョージ、クつたことは勿論である。ウイ

事質を前にして、三年前の今

日を思ふ時、それろに感慨に

撤職の一方的契約に過ぎなか たるベルサイス條約が世界

て派成せんとしてゐる。わ建設が東西において着々とし

響を敢行した。 それからけ

総統はベルサイユ條約破集 三年前のけふ、ヒトラー

ことは、欧洲戦争をして、

に対する特徴の火器を切つた 野を散行、所調ABCD解答

ふことであらう。第一次世界

相違をよく注意する嬰がある

入つたのである。版版米英版 如く、大戦の性格は建設にあ

第一次世界戦争は今や帝國

力を残してゐる。戦争が長畑

我々はこのこつの世界戦争の

にいって建設版である。

一型の大路上直動であり、

させる。しかし前にも述べた

一日を以 て始まる と見てよ第二次世界戦報は僕に九月

日本が八雄一手の大理での下いなる歴史の敵動の中に我が ること勿論であるが、この大

思と、際として郷く概軸館

く理解するのである。 質の説明であることを概銘深 勝つことが深遠なる眞理の現であり、正義は常に不正に打

果然、これは周囲を配室し は欺瞞と、不正と邪獣の腰続

されたものであつた。そして

レマンソーの世界に放言せる

ソ職は既に抗戦力

東亞民族解放の大東語戦

| 【東京電話】 貴族院調査電では世 のに世話人會を開き、大東部職報完 記 業界を視察

圏駅の脱 駅を行ひその 店駅のか ち寄り十月早々一部に視線を開始との根本方針に立即しわが顕影響しひ、九月二十月までに事務部に持 受害もあり、

つてゐるので、これが成果は期待に視察上の便宜をはかることにな することに して・十一時 散省し た。本問題に関しては政府よりの 商工省にあつても特 ムス・ルーズベルトは日本軍の「射撃を受けたが、至うじて黄脈を一発れたといはれる

か、又東亞においては日本部に円裔に戦後し作を蒸行する あり、不十分であらう。

て、共伝共榮の新秩序を如何圏が、解放せる諸民族を率る は敵よ確立する姿があらう。 の盟邦と共に総對不敗の は五年や十年の時日では不足 る。恐らくこの大製の完遂に

重慶泣き面に蜂

をで換索の觀測に割手をあげてあ、審解、機盟など質測を踏のニナーの影響思索の電影が頂感に認導し、本本との謝子立意殴および太和、ので、大神、闇山、竹地、南夏、 水に見舞はれた、これ等水割地よ 害はもつともひどく罹災區は桐城よび噛江の氾濫により安徽省の水

メリカ取は溢日ソロモン群島マキ太平洋戦闘の猛勢接回に確起のア

ル大統領長男

危く命拾ひ

大総館の長男ゼームズ・ルーズペル・ 皮質を擦り解説されたが、卅日本 一

) 鬱足攻厥臓を献みて日本軍の猛」とが戦明した、これによればセースリカ毎は適日ソロモン難勝マキ」ともにこの作戦に巻加してゐたご入平牟戦闘の鑑教検回に郷廷のフールトは 陸電吹 佐として 聴戦隊と

ジャバをジャワ

オランダ色を一掃

を與へるものが働からず。 を與へるものが働からず。

リスおよびオランダの統治時

あらゆる機能を恐ぶ駆倒を随める必要を力能した【写真=ダルー】 ルーはかく日本の決意を説明したのち、米國氏の徹底を促し、今後

た憲原に支那敷地は百年來の大路、よび順江の氾濫により安徽省の水「闔東州」日同盟】最近降り郡い「るといはれる、すなはち揚子江お

提したのも『米図は今きはめて膨大な軍隊と戦つてゐるのだ』と日 つき次の風り遊べた の日本在動は前後十年に及び日本に多数の友人をもつてゐた』と前 が延鷹的困難によって組状するものと若へてはならぬ、日本國民が延鷹的困難によって組状するものと若へてはなられ、中はんや日本のる。日本國民は今次の報ひを全力を傾けて最後まで戦ふ決意を負して

日本の强大さが温電器

委員會は卅一日も討論を取行した要求するものと見られる。なほ小

法 野村大使西下 【東京監 が 語】闘朝した野村駐米大便は一日 下後一時三十五分東京籐銭西下、 「東京監」

断】 闘朝した野村駐米大野村 大使西下

えるものといはれる 害は遅大である、人高、家屋、商 即時釋放要求 會議派首腦

命された小委員會は、その決議

同分が領域であることが判つて来た、その思ひに これ、有手も一ケ所がさいが、肉を挟り取られてあ ルコールを含ませたガーゼを渡して「顔をお拭き かない。 石手を一ケ所がさいが、肉を挟り取られてあ ルコールを含ませたガーゼを渡して「顔をお拭き

特許土持式架空索

京 索 道 株 式 雪東京市浦田區古市町二九: 東京市浦田四四八九: 新 班 明 現 京 城 府 孝 子 町 一 五 田選 化 1/3 元 五七布

代産 物物

つもなかつた、難心、緊心用心洋八隻、闘忿戦六隻、大俠

『おめでたうございます』『はあ有難う』『おめでたう』『おったう』 大野塾に集まる繋が一つく ・ 地野塾に集まる繋が一つく ・ 地野塾は治野塾が比付けられてか

参謀も二人現れ、大本籌へ報告の職職報過書類をつくりはじめた ・ が海長も現れた、忙しいのは軍**職**長だけであつた、そこへ司令邸で **属つ先に敵巡を轟沈させた脳びを控へ目に現してにこして**

る第40で一郎に配門を開いた、『砂瀬命中』二後目も三後目も巻りだ、このため許마が下りた時、それまでの脚蹼が駆を切つて雁れ出し、このため許叩が下りた時、それまでの脚蹼が駆を切つて雁れ出し、 かねてゐた敵の胴腹に喚込んだ、窓も火を發した、次ぎくくに火を 夜戦にあつては補力を集中することは幣々難しいとされてゐる。 をなるにしろ、一、二隻の強いのにぶつかれば、強い奴に思ふ存分 数は問題ではなかつたのだ、要は肌酸 ことながら、前代末端の、恐らく將米二度と縁返されることのないととながら、前代末端の、恐らく將米二度と縁返されることのないととながら、前代末端の、恐らく將米二度と縁返されることのない **あくびが出て仕方がなかつた、全身の力が抜けて行く、そのくせがあつた、何かひどく僕は疲れてゐる、精神的にも疲れてゐるの** 新長の気持を駅ひゃつた、ソファから五、大周離れた 素板の白から 新長の気持を駅ひゃつた、ソファから五、大周離れた 素板の白から 新長の気持を駅ひゃつた。ソファから五、大月離れた 素板の白から 新した。 を眺めてゐると、不思議と無持がくづくと沈んで行くやうな知識

冷静沈着、事に當りよく全力を磨すべし 冷静沈着、事に當りよく全力を磨すべし 冷静沈着、事に當りよく全力を磨すべし

早く止しい撮影が形の道によりて 始しませる。お摩江城の金司を基 人生を失ふ賦病ロクマク患者より

と繁草原は時光明のあなたへ」の二

安い器械で簡單に無菌の水が得られる

是非調劑水に御利用を乞

S

NGK 濾過器

定價勞貳拾貳圓五拾錢

遂に我が身も全身に爆傷

日本特殊陶業株式會社京城出張所

代理店 東 商 事

產業部(京城市市田一四)

至るまでほつ近色になった、触れた兵も幾人かあった、僕の防磐四 め僕は右腕をやられ全域に無数の打撲臓をうけた、顔から防磐服 後の抵抗をつどけてゐる、僕が例付いたのもその甲巡のおかげで 秦皓型の後半身を紅蓮の格に団まれながら 戦場で勇敢にも突 冗成のやうに脆いのである、桑港型の米甲巡の一つが俄にわれて 明びが起つた、思ひもよらぬ近距離に放巡が辿つてゐたからであってがある。と司令塔の遵りで謎かが叫び正暦みして記を告げ

手柄語らず控へ目な喜び

肉彈戰ののち遂に强固な赤軍防衞線を敷ケ所で突破して怒濤の如く猛進同市南方二十五キロの線に到達した【ベルリン卅1日同盟】デー・エヌ・ベー通信が監座機能として卅1日際へるところによれば、スターリングラード 南方の 獨軍は壯烈果敢な つた引動の方をしてゐるところであつた、祖ひかけて來る歐紫が十官室に下りて來てから問もなく個點が止んだ、歐歐は

商物長の競も機能長の鋭も外何にも臨しさうであつた、水器長

神業帝國海軍の無敵ぶり

あた、七官参の無板に今夜の散場がはじめて書き出された、 僕は 僕は氷い間ソファによりかくりまがらなほ右腕のうづきに動へ

肺患者以

師とした全快指導質当治院の原理」 出しなさい、そして早くとの方は により振思を治して悪びの光明に 見た」と言いて左記へハガキを

消化進み 榮養倍加 問 清津 清津新井薬門 慰下疲腹胃問前分痛腸



構狭間に擬すツラギ夜襲

脳のやうに一、二後喰ふちはアレッと思ひきりよく燃えあがつてし力は経識しなければならないのだが、全く破骸は木か紙で作つを取 るまではさうは思はなかつた、もちろんそれは日本海軍の配鰲の敷職があんなに影々として贈くも火になるものとはこの目で確かめ いしてゐたのもたしかであつた、しかし、以は既を高くして觀つてゐ ■で繋が右住左住してゐるのが双眼鏡にはつきり返るのである、

なつてゐた。肉類脱などは米茲艦隊は八月八日の午前十一時四十分,機関長は愛用のバイブに難きをかけてゐた。九時半には飛び立つは

大りロモン在戦記海軍報道班員

しも響うない夫属で土柱総を出て行く土能があつた、魔草のすきなである。しかしかういふ隣しい魔唇はおくがにも出さず、戦ひの端である。しかしかういふ隣しい魔唇はおくがにも出さず、戦ひの端である。しかしかういふ ほしん 大き にんしゅうしょう しゅうしょう しゅうしゅうしょう しゅうしゅう しゅうしゅうしゅう

てゐた、水柱が消えるとイギリス艦の変は海町から綺麗に消えてゐてゐた、水柱が消えるとイギリス艦の変は海町から綺麗に消えてゐ

オーストリヤ壁は無路を喰ひ、自分の長さの三段もある水田をあげ、髪の間に熒锵してゐたのである、あつと思つた時にはイギリス耴巡

総となって浮びあがつた、見るやもうその時には日本の監際が目と

6青白い附明瀬が落されたのである。三本マストの敵職が三つの脳の避難をうけるものとばかり用心してゐたやうである。梁然飛行機が一般ないうるものとばかり用心してゐたやうである。梁然飛行機が

長がしびれを切らしてしまふまで『射て』の新明を興へなかつたの長を急がせるのが當り前になつてゐるのだが、この後は歐長は範疇

興へなかつたといふ、大抵の場合『射て 〈 』と職長の方から敵権とさう途優したが、この時、職長は『射て』の許しを容易に敵都長に

う、土臓なそれで、優に、近々をみである。第一番中に減り出され、 らないつもりだうた」と長笠はあとになってつくん、恵らされた、 ちかい、土臓なそれで、優に、近々をみである。第一番中に減り出された。

『もしこの夜襲がうまくゆかないやうだつたら、自分は生きて歸 曖にも出さぬ決死の覺悟 い憲成大館不敢な世界一の認り込みであつたらういるという、では、からは、一切になってあたのでもなく、一定の泊地に整除を集結してみるところへ綴り込みをかけたのである。ふそらく戦史にまたとないを対してあたのでもなく、本師

鰹喝を交へを物遊いスコールが水襲した、それでも床方の飛行機は 皴は床方廠載機にほとく~手を焼いてしまつたらしいのだ、そこへ

のた打ち廻る紅蓮の敵艦

自信滿々、從容たる艦長

その場を去らずぶんくと飛び廻つてゐたのであるが落に敵も策の

ツラギ語院の頃は深眺壁を織り盛みに高度館や機能を附らあげてわて来た。 変感に飛行機をぶん 人と飛ばされるほど気帯の歌いものない、変感に飛行機をぶん 人と飛ばされるほど気帯の歌いものでに、変感に飛行機を多て 外の歌いもの

黴の大爆炎が起るに湿ひないのだが、その時まで溶上でのたうも週が生物のやうにこちら目帯けて飛んでくる些壯さである、やがて目には繁節から際んに登邸してゐた、火蓬勵の中から白い拠い火の玉

ケント型は窓ち後半身を火焰に配まれた、しかしまだ肌のある設備

タント型は窓も火を接してしまつた。最初は襲信り方で燃えばじかると電纜値から鑑賞の型をした鐵塊を引出して眺めてゐるやらな恣く思術値があると電纜値がの鑑賞の型をした鐵塊を引出して眺めてゐるやらな窓に恐怖感を與くた

つた』と喜々として出て行つた、やがて若い微らの微散像が脳の上ずの若い飛行長は微に好を挑み、微を買かして『四目になつた、な

新會社の企業方策大綱

米英ソは西亞連絡死守

英の

金段開新

麗高人

製 法

特

許

五九

行

尿城府资金町二丁目一

21

一與和化學工業所 「與和化學工業所」 「與和化學工業所」 「與和化學工業所」

別市に昇格張家口市を特

疏菜、青果難の對策

一百餘名を決定發表

近郊農業の綜合化

考がいる情報を予

建薬土製 事署等 F 最少の燃料で最高の熱量 專賣特許

蒸製東日

任献開委用を実用

電話本局でいるは tt 店

・シリンダーブロツク・

日本メタリコン工業所總代理店 朝鮮メタリコン工業所

ヘツト・各種シャフト・ローラー 磨耗・龜裂・肉盛・再生修理 サンドブラスト・清掃請負

里蘭州

信原事務官・マイクで叫

戦時鑛山增間期調强産

つゝあることは日に御承知の通之が擴大せられ建設の歩を進め見ない大職果を暴け更に尚着々

運動を實施数すことになつたの運動を實施数すことになったの

を立孤に勝ち扱くために 精神を歌仰する人々に

『健民彫塑展』

殉忠精神を偲ぶ

きのふ『松志會』の集ひ

現代、云帅を一から徳凱少帯特別正確は赤塔技の「作品の長売會を九1」1476と十次で、衛衛衛を「催するが、、敵寇會の縁部では内地・手になる属の閣議員を獲しを終る源は『慰安曹勢として左の日経により開・氏ほか現代一能脱郷東叙五十氏の形成を教えて一大を開発した。

作品の展示者を九月一日から十

全鮮五ケ所傷痍軍人修養會

改元帥を偲ぶ小磯總督 は知つてお前の努力を領らせ、かしこれを一々お前に示すこれを一々お前に示すこ

質筋により王道政治の確認確立す」として聞くであらっ

北村防護課長愛國班へ注意

現真語、陛下を、即版して内殊多職となる関係の原即に場命を奉じ任戦

職一階開保の長現に蓋屋、帝政の

青史に燦たる偉勳

滿洲建國に不滅の功績残す

武藤、鄭二元勳を追慕

形式に捉はれるな 實戦に即した防空施設が肝要

南方の洋書を輸入

情報局から調査班を派遣

【〇〇前線にて川邊特派員

はついけられてゐる、戦ル

象台長着任本多新任氣

京海、平安南北、 威強南北、

(代理店募集)

ミリオレ

百濟文化を探る

一部の史職を影響する百一されるものとして正目されてゐる B的】千四百年の神秘をW 一般据によっていよく明確に把握

-認可は千五百六十三件-

开 權 萬 苏 天 医 另 二 名 又 多

研究所

庭球リーグ

□供小るで伸 本日233米

活信 一路道の二郎

乳

全閉外被通風型

秋友商行機 部 電機部 旅城府岡崎町6

ートル

ウルクス館 発売元 売養・新薬・新製剤 立正堂题

商品を受ける かんり 一種 報 発 (行う)

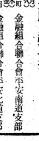
側は語の元祖

以サキ測

『電影 | 一八六番 | 側 量 器 機 部

測機舍精密測量製圖器機

取扱業の 関発性金/電視等 (単版) 大月 大田(家) 国際組合聯合資平安北道支部 中央 はいまれ 金融組合聯合資平安市道支部九月 大田(紀)



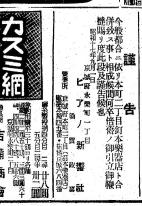








Ō٠



取締役社長 木村七郎 大成木材工業株式會社 製作町干電の(富士50元大党)

社 名 變 更 御 挨 拶 和 挨 拶 即 御 挨 拶 即 御 挨 拶 即 御 挨 拶

仕事シナガラ 話/出来ル 高髪電話機(トークバッグ) 電機学 器

日本高馨電話製作所 朝鲜 綿代 理店 髙千穂電機響 京城府義州通一ノ三八 電光 3771・2941

世界六大洲の蝶類蒐集(世界五年豊人)

學報

會期 九月二日から六日まで

<u>ૻ૽૱૱૿૽ૺ૱૽૽૱૽૽ૺ૱૱૽૿૱૿૽ઌ૿૽ઌ૿ઌ૽ૻઌ૿ઌ૽૽ઌઌઌ૽૽૽ૺઌ૱૽૽૽૽૽૱૱૽૽૽૽૽૱૱</u>

6日本ニュース自士五娘 サ大日より 1マツ タ 木 リ ン 1マツ タ 木 リ ン

喜樂館

大月十六日ョッ/ ・脚時間表 ・ 中 原 道 剛 雅 ・ す う ひ irto Fot ギズへ記 irto Fot ギズへ記 irto Fot ギズへ記 irto Fot ギズへ記



伊

援 催

政権化

協協

基

るまるらい遊交後連及欧国来へと動ののはを「子の報る信服に貼折器

發 決 乏麗 腦 前

高の日本におります。 第2年 四日日日 日本 第2年 四月日日 日本 第2年 日本 E 富士屋藥房 夏城府将大門通一丁目取置,發展元 品切の前は、貧民酸酸の

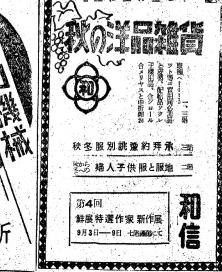
H

太利 五 兒童 階 痩 作品 五報學子種社會

(重) 倒する幽艷塵麥絶妙の至藝之踊る名花、山根壽子銀幕を墜 柳家金品樓如果好太郎 邓太松口川 /fili 封二切日

城•長谷川町 ※ 場劇城京







永久王殿下

北白川

宮

慢くも金校玉葉の御身をもつ 家口三十日問題】 來る九月四

本の (本の) たる (本の) たる (本の) たる (本の) たる (本の) たる (本の) にの対し、 (本の) にの対し、 (本の) たる (本の) にいる (本の) にい

た。注題の的となった、昭和二年昭和大注題の的となった、昭和二年昭和の助となった。昭和二年昭和

つそれたよかわをるぬりちとへほにはろい

野

がら一巡した。生徒達はこの心臓をしい作業振りに微奏で設けかけな

に呼った

畏し軍人援護に御心

氏に委員してゐたか、

京城府の行事 つて影響活動なる一日を過す



(894) して、日にもの見せてく

矢野橋村(箱)

9

八月 一日抽籤

七 □

Ħ

叚

段

戰時債券當籤番號表

割增金

權泰藤伊 计學醫

> 地番七四一**邊門化**尤府城帝 (側向局便郵用化光)



















日本は今や大いなる征航を整 出 P

ŋ

作品着く聖戦美術展

遺家たちが、砲煙飛起雨の中に立い肌の作品はさすがに現代一流の | 線に 砂着せる 構築・などどれ 河戦の戦跡・奥に鉱田五郎作の

京畿道知

先頭の大

40382 42022 43385 43220 46636 47643 48743 48743 50382 5777 916 76 52772 97825 78627 56672 57788 5880 60029 61333 62296 63588 65196 66613 68183 69488 70874 72205 73467 73149 76445 77330 78285 400584 42226 43743 4524 46741 45764 45754 48740 48719 50388 57719 52877 73450 5880 5678 57807 58075 6678 57807 58075 6678 57807 58075 6678 57807 58075 6678 57807 58075 6678 57807 58075 6678 57807 58075 6678 57807 58075 6678 57807 58075 6678 57807 58075 6678 57807 58075 6678 57807 58075 6678 57807 58075 6678 57807 58075 6678 57807 58075 6678 57807 58075 6678 57807 58075 67807

962 61291 62592 63576 65028 66584 68170 69481 70711 72045 73445 74835





誰け 超閑散

分高

國